



資料展示「春をよぶ ~和のこころと響き~」を実施しています！

令和8年2月1日（日）に当館で開催する「シリーズ 音楽と図書館 vol. 11 春をよぶ 箏の調べサロンコンサート」に併せて、春をテーマにした作品や年中行事などの日本の文化に関する本、箏の音色を楽しめるCDなど、春が待ち遠しくなる資料を展示・貸出ししています。

1 期 間

令和8年1月6日（火）～3月1日（日）

【展示の様子】

2 内 容

- ・ 古典文学
- ・ 2月、3月の季節の本
- ・ 日本の伝統音楽
- ・ 文化と年中行事

3 資 料

展示資料 206 点



【例】

『京都古典文学めぐり』荒木浩／著 岩波書店 2023

「源氏物語」「枕草子」「方丈記」…。京都の地名・寺社を手がかりに、都人が暮らした古典文学の舞台を訪ね、わかりやすい現代語訳とエッセイ、絵巻などの豊富な図版で名作の魅力を伝える。『京都新聞』連載をもとに単行本化。

『楽器の事典箏(琴)』松田明／編著 東京音楽社 1992

「コト」と呼ばれている日本の伝統楽器は、多くの場合「俗箏」または単に「箏」という楽器を示す。箏は日本の近世音楽になくてはならない楽器です。箏と琴の違いや、琴の実態について述べる本。

また、この展示と関連して、2月1日（日）に当館にて音楽イベントを開催します。

申込み不要で、入場料は無料です。

こちらについても是非、報道してくださるようお願いします。

「シリーズ 音楽と図書館vol. 11 春をよぶ 箏の調べサロンコンサート」

(1) 日 時 令和8年2月1日（日）14:00～14:30

(2) 場 所 県立図書館 特設展示コーナー前

(3) 演奏者 木原(きはら) 朋子(ともこ)